

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きららドリーム沢良木			公表日 2025年 3月 30日		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.00%	0.0%	0.0%		
	2	職員の配置数は適切であるか。	100.00%	0.0%	0.0%		
	3	事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や環境上の配慮が適切になされているか。	18.20%	9.1%	72.7%	階段があるため、児童が転倒しないように職員が必ず前につき、受け止められるように昇降している。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	日々、ミーティング振り返りを行い、ケース検討会議等も行っている。様々な職員が参加できるようにしている。	非常勤職員が参加しにくい状況にあるため、設定の時間帯や共有方法については、考えていく。
	5	保護者向け評価を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	事業所内会議の中で、共有を行い改善方法等について話し合いを行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページなどに公開しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9.1%	0.0%	90.9%		今後は検討していく。
	8	職員の資質の向上を図るために、研修の機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎月、年間の研修計画に基づき、外部内部の研修を行い参加している。	参加に偏りが見られるため、全職員が研修に参加できるようにしていく。
	9	アセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者面談や事業所内会議などを経て計画を作成している。	
	10	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	90.9%	0.0%	9.1%	個々の児童に合わせ、利用時間に応じて課題を設定している。	
	11	こどもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	様々な職種の職員が参加できるように行っている。	
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	季節の活動や様々な職種の職員が、立案を行い、工夫している。	
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	こどもの特性に応じて考えている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	非常勤職員も必ず参加できるように確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	非常勤職員も必ず参加できるように確認を行っている。	
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	ケース検討を別途行い改善を行っている。	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	19	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	0.0%			

関係機関や保護者との連携	21	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合ア、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	9.1%	27.3%	63.6%	現時点では該当利用者がいない。	
	22	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	送迎時や電話連絡で情報共有を行っている。	全学校と行えているとは言えないため、引き続き共有できるようにすすめていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9.1%	9.1%	81.8%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	会議がある場合は、必ず参加している。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や指導をしているか。	72.7%	18.2%	9.1%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	72.7%	27.3%	0.0%	隣の公園活動などを通して、交流がある。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9.1%	9.1%	81.8%		
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	連絡帳や送迎、面談等で伝えあっている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。	90.9%	0.0%	9.1%		
保護者への説明等	30	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時説明を行っている。	
	31	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	必要に応じて行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	年に1回保護者で交流する機会をもっている。	
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	1カ月に1回、おたよりを配布し、発信している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	36.4%	36.4%	27.3%		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	マニュアルを定期的に確認し、マニュアルを元に研修、訓練を行っている。	
	39	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	年に1回訓練、研修を行っている。	
	40	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18.2%	9.1%	72.7%		
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	日々振り返り、月ごとに確認を行い共有を行っている。	
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	定期的に研修を行い、委員会活動を行っている。	
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	計画に記載し、署名をもらっている。	